



©多田ユウコ

木の温もりを五感で感じながら、 感性豊かな保育時間を過ごす

緑に囲まれた園に増設された園舎は、地上園庭から屋上園庭まで立体的につながった設計となっている。

園舎内は、愛知県産のヒノキを床、壁、天井、家具に使用している。節のあるヒノキを使用することで、視覚的な変化を楽しむことができ、床は素足で過ごす園児の足の負担軽減を図り、木の温もりを直接肌で感じながら過ごすことができるデザインとなっている。

木の香る都市づくり事業

しんせいひがししが

新生東志賀保育園

名古屋市北区志賀町5-2

構造／RC造2階建て

延床面積／135.07㎡ 竣工／2023年2月

内装木質化面積／158.14㎡

(うち あいち認証材158.14㎡)

木材使用量／5.58㎡ (うち あいち認証材4.18㎡)

樹種／ヒノキ、ベイマツ、シナ

施主／社会福祉法人名古屋新生福祉会

設計／吉野純子建築設計室 + clublab.

施工／ICMパートナーズ協同組合

2022年木の香る都市づくり事業活用施設



©多田ユウコ



©多田ユウコ